

# 第64期中間報告書

平成21年11月1日から平成22年4月30日まで



**ナニフ株式会社**

株主の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期は、各国政府の景気浮揚策や新興国の経済発展による国内輸出企業の回復の影響や社内での自助努力もあって、一昨年水準には及ばないものの前年同期比では大幅な増収増益となりました。そのため配当は2円増配して8円とさせていただくことにいたしました。

先行きの景気は内外の政治・経済情勢に混迷の兆しがあるために予断を許さないところでありますが、弊社は今後とも「ユニークな発想で新しい価値を創造する」べく頑張っていきますので、株主の皆様におかれましては今まで以上のご支援ご鞭撻を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

平成22年7月

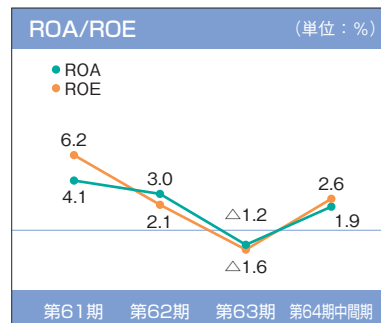
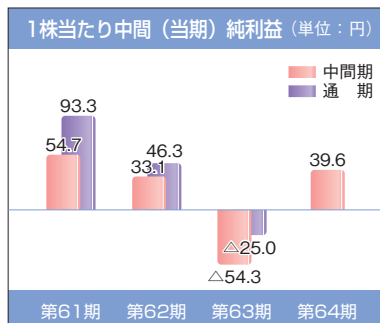
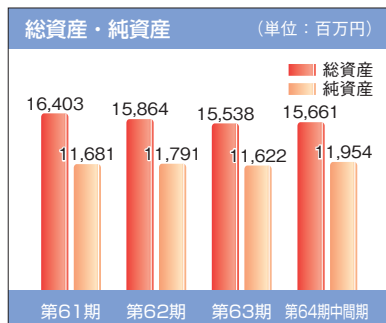
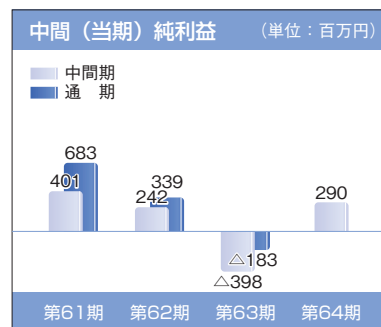
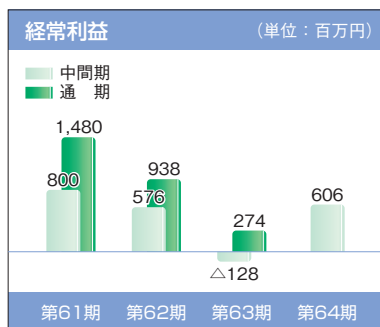
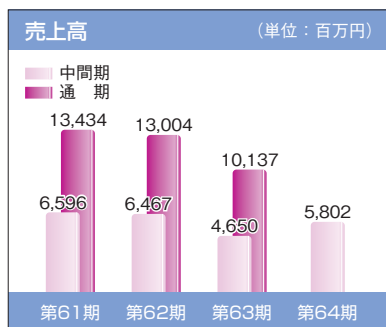


代表取締役社長 粕谷忠晴

# 当社グループの事業

塗料事業	<p>合成樹脂塗料・シンナー … 当社及び耐塗可塗料化工（青島）有限公司で製造し、直接又は巴興業(株)、特約代理店を通じて販売しております。また、巴興業(株)は廃溶剤を精製して再生シンナーを製造販売しております。</p> <p>塗料関連製品 …………… 当社で仕入、直接又は特約代理店を通じて販売しております。</p>
ファインケミカル事業	LCD（液晶表示装置）用高分子材料 … 当社で製造し、直接又は特約代理店を通じて販売しております。
その他の事業	産業廃棄物の収集運搬 …… 巴興業(株)が産業廃棄物の収集運搬をしております。

# 財務ハイライト



ROA：総資産当期純利益率  
ROE：自己資本当期純利益率

# 営業の概況

## 当中間事業年度の事業の状況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、中国をはじめ新興国の需要増加や政府の経済対策等により、一部に景気を持ち直しの動きが見られるものの、設備投資の抑制や依然として続く厳しい雇用・所得環境から個人消費は低迷し、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは当中間連結会計期間も前中間連結会計期間に引き続きコスト削減に努め、また、原材料等の見直しなどによる原価低減に取り組むとともに、顧客ニーズに即した製品の開発・拡販に注力いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高5,802百万円（前年同期比24.8%増）、営業利益576百万円（前年同期は83百万円の営業損失）、経常利益606百万円（前年同期は128百万円の経常損失）、中間純利益290百万円（前年同期は398百万円の中間純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

### ①塗料事業

金属用塗料分野では、全体としてはまだ回復半ばの状況であるものの、長期低迷していた工作機械関連等で生産量の回復の動きが出てきたことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。木工建材用塗料分野では、新規住宅着工件数減少の影響で市況の低迷が続いておりますが、一部の大手ユーザーにおいてシェアアップが図れたことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。無機材用塗料分野でも、同様に市況の低迷が続いているものの、大手ユーザーでの新規提案製品の採用率

が高まったことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。その他の分野では、シンナーで新規ユーザーの獲得ができたことや、樹脂素材分野において携帯情報端末への採用が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

その結果、塗料事業における当中間連結会計期間の売上高は4,821百万円（前年同期比21.6%増）となりました。

### ②ファインケミカル事業

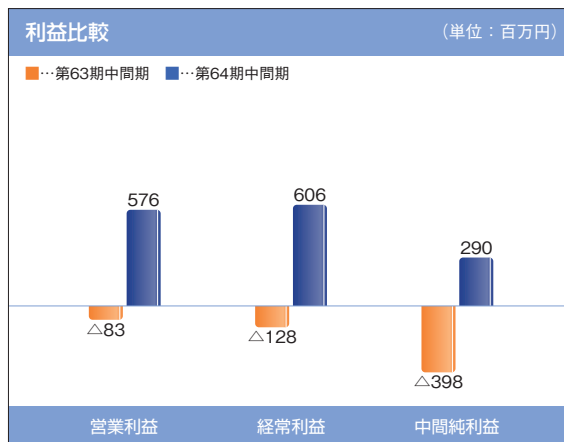
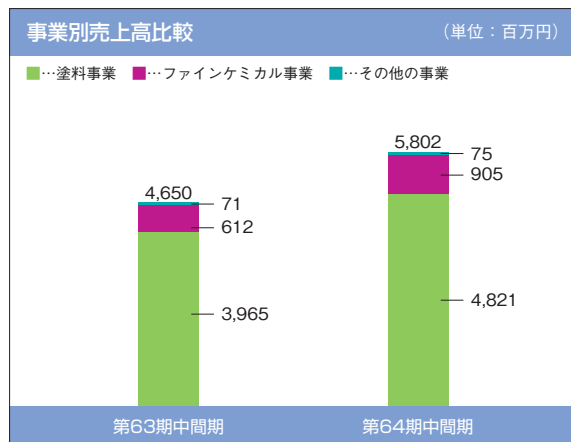
LCD用微粒子は、LCDメーカーの生産量の回復を受けて需要が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。化成品におけるシリコン系表面機能材料や光学材料向けの自己治癒コーティング材につきましても、メーカーの生産量の回復で需要が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ大きく増加いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当中間連結会計期間の売上高は905百万円（前年同期比47.8%増）となりました。

### ③その他の事業

産業廃棄物の収集運搬におきましては、企業の生産活動が回復しつつあり、廃液の排出量も増加してきたことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、その他の事業における当中間連結会計期間の売上高は75百万円（前年同期比5.4%増）となりました。



△は損失です。

## 第64期中間期の開発動向

当社グループは、地球・人にやさしい環境対応型商品の開発、業界でのシェア向上に向けた差別化商品の開発、更に電子材料関連分野等で要求される高度な機能を備えた高分子材料技術・製品の開発に取り組んでおります。

### ①塗料事業

金属用塗料分野では、地球温暖化原因物質CO<sub>2</sub>の総排出量低減・燃費改善に向けての低温焼付け塗料ハイメリットの開発、生産化、上市を完了しました。またアクリル焼付け塗料アクリストに新たに厚膜型アイテムを開発し追加発売いたしました。

木工建材用塗料分野では、フローア分野での独自な木質感を表現できる意匠技術の開発及び確立を行い、更に新たな手法での検討を進めました。また、室内環境機能を付与した商品の独自開発も進めております。

無機材用塗料分野では、ユーザーでの合理化、省コストに寄与すべく、既存の塗装工程や仕様における欠点の改善を目指した塗料の開発検討を進めました。また、適用用途の拡大を視野に、従来の塗料形態、塗膜形成方法に拘らない塗料の開発検討も進めています。

その他の分野では、樹脂素材製品を対象として、塗装時の歩留り向上に役立つ、UV硬化型触感艶消し塗料の開発を行い、市場ユーザーへの提案を行っています。

### ②ファインケミカル事業

LCD（液晶表示装置）微粒子を利用した新規プロセス開発については、重要課題と量産性課題にも一定の目処がたち今後、量産実現に結び付けていきます。

化成品事業部におきましては、光学用途関連ではユーザー要求に合わせるためにより高機能・高性能なコーティング材の開発を行いました。光学用途以外においても新機能を付与したコーティング材の開発と提案を行いました。

### ③基礎研究

樹脂開発、分散技術、塗装技術、色彩技術の各部門の開発活動として、樹脂開発では塗料事業部との共同開発による特殊機能樹脂のスケールアップレベル試験を行いました。分散技術では無機粒子表面への有機物処理による無機・有機複合体の生産確認試験を行いました。塗装技術では薄膜コーティング技術の確立により電子材料関連への展開を検討しております。色彩技術においては、塗料事業部への新規意匠提案を行ってまいりました。

## 中長期的な経営方針

当社グループを取巻く経済環境には厳しいものがありますが、中期経営方針に沿い、次の経営戦略をもって難局打開と将来への展開を図ってまいります。

- ①顧客ニーズの変化に敏感に対応できる営業力を強化し、顧客別戦略による提案型営業を強力に推進してシェアを拡大し、利益率を重視した営業展開を行ってまいります。
- ②新技術・新製品開発とコストダウン促進のため研究開発部門を強化し、顧客ニーズを先取りした新技術・新製品の開発に取り組んでまいります。
- ③在外子会社の販売、製造、技術の充実を図り、中国市場の拡大を推進してまいります。
- ④生産体制の整備、工場の生産効率の向上や原材料の統廃合による価格低減の推進により、品質の向上及び徹底したコスト削減に取り組んでまいります。
- ⑤情報システムを積極的に活用することにより、業務の効率化と顧客サービスの向上に取り組んでまいります。
- ⑥経営の監督・監視機能の強化と透明性の向上を図るため、内部統制システムを整備することによりリスク管理体制を充実させてまいります。

### 環境保全

当社は平成13年8月に全社一括で、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得いたしました。これを契機に一層環境に配慮した事業経営を年々、より向上させております。

# 中間連結財務諸表（要約）

## 中間連結貸借対照表

（単位：千円）

科 目	当中間連結会計期間末 (平成22年4月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成21年4月30日現在)	科 目	当中間連結会計期間末 (平成22年4月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成21年4月30日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>10,047,464</b>	<b>8,206,934</b>	<b>流動負債</b>	<b>3,274,402</b>	<b>2,321,214</b>
現金及び預金	4,542,869	4,021,258	支払手形及び買掛金	2,236,078	1,573,421
受取手形及び売掛金	3,519,967	2,706,967	未払法人税等	298,572	31,322
有価証券	299,399	—	賞与引当金	194,419	169,761
商品及び製品	642,791	604,163	役員賞与引当金	12,330	1,900
仕掛品	59,799	29,302	その他	533,002	544,809
原材料及び貯蔵品	320,352	274,304	<b>固定負債</b>	<b>431,938</b>	<b>407,970</b>
繰延税金資産	113,565	37,720	退職給付引当金	89,889	68,161
その他	555,108	538,144	役員退職慰労引当金	186,628	172,005
貸倒引当金	△6,389	△4,927	繰延税金負債	29,040	44,813
<b>固定資産</b>	<b>5,613,815</b>	<b>5,862,062</b>	その他	126,379	122,991
<b>有形固定資産</b>	<b>4,965,248</b>	<b>4,958,958</b>	<b>負債合計</b>	<b>3,706,340</b>	<b>2,729,185</b>
建物及び構築物	2,340,846	1,934,808	<b>(純資産の部)</b>		
機械装置及び運搬具	759,868	862,517	<b>株主資本</b>	<b>11,345,660</b>	<b>10,928,521</b>
土地	1,713,470	1,713,470	資本金	1,626,340	1,626,340
その他	151,063	448,162	資本剰余金	2,288,760	2,288,760
<b>無形固定資産</b>	<b>141,196</b>	<b>136,895</b>	利益剰余金	7,432,987	7,015,848
<b>投資その他の資産</b>	<b>507,369</b>	<b>766,208</b>	自己株式	△2,427	△2,427
投資有価証券	327,835	520,479	<b>評価・換算差額等</b>	<b>65,575</b>	<b>△24,371</b>
繰延税金資産	7,183	6,099	その他有価証券評価差額金	37,583	△60,018
その他	277,860	304,966	為替換算調整勘定	27,991	35,646
貸倒引当金	△105,509	△65,336	<b>少数株主持分</b>	<b>543,703</b>	<b>435,661</b>
<b>資産合計</b>	<b>15,661,279</b>	<b>14,068,996</b>	<b>純資産合計</b>	<b>11,954,939</b>	<b>11,339,810</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>15,661,279</b>	<b>14,068,996</b>

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年4月30日)	前中間連結会計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年4月30日)
売上高	5,802,644	4,650,515
売上原価	4,169,413	3,783,989
売上総利益	1,633,231	866,526
販売費及び一般管理費	1,056,307	950,087
営業利益又は営業損失(△)	576,923	△83,561
営業外収益	35,804	26,818
営業外費用	6,320	71,511
経常利益又は経常損失(△)	606,406	△128,254
特別利益	1,171	2,638
特別損失	2,114	54,495
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	605,463	△180,111
法人税、住民税及び事業税	290,790	25,077
法人税等調整額	△30,658	158,397
少数株主利益	55,219	34,715
中間純利益又は中間純損失(△)	290,111	△398,302

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年4月30日)	前中間連結会計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年4月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,109,828	68,138
投資活動による キャッシュ・フロー	△470,021	132,034
財務活動による キャッシュ・フロー	△44,039	△58,521
現金及び現金同等物に係る 換算差額	1,329	△2,190
現金及び現金同等物の 増減額	597,096	139,461
現金及び現金同等物の 期首残高	3,888,773	3,876,797
現金及び現金同等物の 中間期末残高	4,485,869	4,016,258

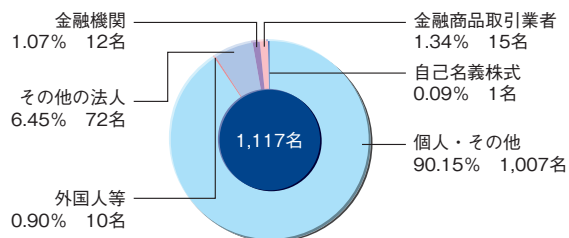
# 株式の状況 (平成22年4月30日現在)

①発行可能株式総数	26,299,000株
②発行済株式の総数	7,324,800株
③株 主 数	1,117名 (前期末比117名増)

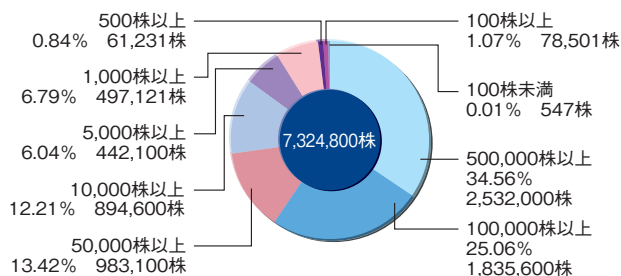
## 大株主

株 主 名	持株数 (株)	出資比率 (%)
有限会社巴ホールディングス	1,090,600	14.89
粕谷忠晴	757,200	10.33
ナトコ共栄会	684,200	9.34
株式会社三菱東京UFJ銀行	255,000	3.48
粕谷太一	239,500	3.27
株式会社三井住友銀行	230,000	3.14
株式会社中京銀行	210,000	2.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	179,100	2.44
粕谷英史	165,700	2.26
粕谷健次	162,800	2.22

## 所有者別株主分布状況



## 所有数別株式分布状況





(単位：円)

	第61期	第62期	第63期	第64期中間期
期末（中間）配当金総額	131,835,600	124,510,873	87,890,028	58,593,352
（普通株式1株につき）	18	17	12	8

## 配当政策及び配当金

当社は、株主様への利益還元を経営の重要な政策と認識し、安定配当の継続を基本方針として、業績の推移などを勘案して実施することとしております。

当中間期の利益配当金につきましては、業績等を総合的に勘案した結果、1株当たり8円とさせていただきます。

また、平成22年10月期の期末配当金につきましても、1株当たり8円を予定しておりますので、年間配当金額は1株当たり16円となる見込みであります。

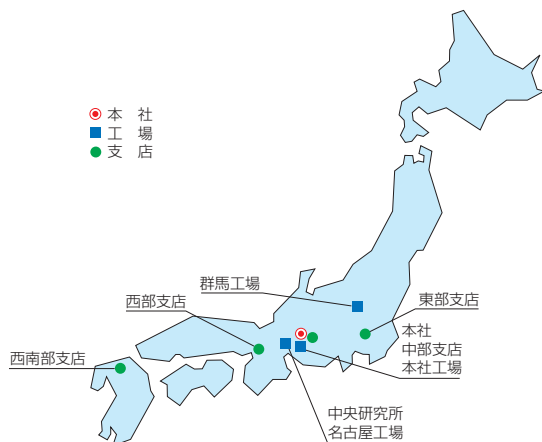
## 会社概要 (平成22年4月30日現在)

設 立	昭和23年11月1日
資 本 金	16億2,634万円
従 業 員 数	223名 (臨時従業員及びパートタイマーを除く)
主 要 製 品	金属用塗料・木工建材用塗料・無機材用塗料・ その他各種塗料用シンナー・塗装機器・ファイ ンケミカル製品
本 社 所 在 地	〒470-0213 愛知県みよし市打越町生賀山18番地(注) 0561-32-2285

## 主要な事業所及び工場

本社/本社工場	愛知県みよし市打越町(注)	0561-32-2285
群馬工場	群馬県みどり市笠懸町	0277-77-1703
名古屋工場	名古屋市瑞穂区二野町	052-882-7572
中央研究所	名古屋市瑞穂区二野町	052-882-7572
東 部 支 店	さいたま市南区白幡	048-844-8461
中 部 支 店	愛知県みよし市打越町(注)	0561-32-9653
西 部 支 店	大阪市淀川区三津屋南	06-6308-2824
西 南 部 支 店	福岡市博多区住吉	092-432-2811

(注) 平成22年1月4日より本社及び中部支店の住居表示が変更になりました。



## 役員の状況 (平成22年4月30日現在)

代表取締役社長	粕 谷 忠 晴
取締役副社長	粕 谷 健 次
常務取締役	川 上 進
取 締 役	山 門 祥 彦
取 締 役	三 宅 敏 勝
取 締 役	山 本 豊
取 締 役	粕 谷 太 一
常勤監査役	瀧 政 雄
監 査 役	山 田 靖 典
監 査 役	脇 田 政 美

## ホームページのご案内

当社ではホームページにて当社の企業情報を随時開示しています。IR情報のサイトでは決算短信等がご覧いただけます。



<http://www.natoco.co.jp/>

事業年度	11月1日から翌年10月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	10月31日
中間配当金受領株主 確定日	4月30日
定時株主総会	毎年1月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所JASDAQ市場
公告の方法	日本経済新聞に掲載する

## 【ご注意】

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

